

	主催事業	
	総会記念	公開座談会・研修会（平成17年度から開始）等
平成元年度	パネルディスカッション 「現代家族と心の健康」 司会：高森敬久（愛知県立大教授）	「ライフサイクルを通しての心の健康シリーズ」 第1回 幼児期 基調講演：若林慎一郎（岐大教授） 話題提供者：塩川寿平（千葉淑徳大）、平野昭子（豊明市家庭児童相談室）、喜多一憲（名古屋文化キンダーホルト）
平成2年度		「ライフサイクルを通しての心の健康シリーズ」 第2回 児童期 基調講演：小嶋秀夫（名大教育学部教授） 話題提供者：亀井敏彦（はこ心理研究所）、河村公子（フリーハウス）、杉山登志郎（名大医学部）
		第3回 思春期 基調講演：蔭山英順（名大教育学部） 話題提供者：伊藤知佳子（中学教諭）、岩佐寿夫（家庭ケースワーク研究所）
平成3年度		「ライフサイクルを通しての心の健康シリーズ」 第4回 青年期 基調講演：榎本 和（共和病院医局長） 話題提供者：土川隆史（名市大看護短大）、岡志保子（高校養護教諭）
		第5回 20歳代 基調講演：鶴田和美（名大学生相談室） 話題提供者：森川利彦（三菱電機産業医）、栗原壮一郎（アイシン精機部長）
平成4年度		「ライフサイクルを通しての心の健康シリーズ」 第6回 30歳代 基調講演：森 省二（柳城女子短大教授） 話題提供者：田畑洋子（名古屋女子短大）、中田征二（中日新聞）
		第7回 40歳代 基調講演：中田照子（愛知県立大学教授） 話題提供者：森谷寛之（愛知医科大教授） 司会：栗原壮一郎（アイシン精機部長）
平成5年度	「こころの国際化」 講師：青島 宏（中日新聞論説室副主幹）	「心の病と社会参加」 基調講演：寺谷隆子（JHC板橋） 話題提供者：今川宏一（職親会会長）、小久保裕美（北林病院PSW） 司会：刀根 健（保生会病院PSW）
平成6年度	「不登校を語る —援助者の立場から—」 講師：長岡利貞（椙山大）、細江逸雄（県立ならわ学園）、井上朋子（尾張事務所相談員）、向井 環（メンタルフレンド）	「ライフサイクルを通しての心の健康シリーズ」 第8回 老年期 講師：小国英夫（愛知県立大教授）
平成7年度	「老いの意味とその生活・文化」 講師：新村 拓（京都府立医科大教授）	
平成8年度	「職場ですすめる心の健康づくり」 講師：栗原壮一郎（アイシン精機安全衛生部長）	

平成9年度	「こころの病の図像学」 講師：長岡利貞（相山女学園大教授）	
平成10年度	「人と動物とのふれあい」 講師：加藤弥兵（愛知県獣医師会）	普及講演「介護する者、される者」 講師：武藤清栄（東京メンタルヘルスアカデミー）
平成11年度	「不登校児より見た親子関係」 講師：花井正樹（名古屋市治療教育センター）	
平成12年度	「薬物問題から見た親子関係」 講師：西山 仁（西山クリニック）	
平成13年度	「夢について」 講師：高林美香（アイシン精機）	
平成14年度	「社会の変化と病気の変化」 講師：笠原 嘉（名古屋大学名誉教授）	
平成15年度	「現代社会と少年非行」 講師：鮎川 潤（金城学院大教授）	
平成16年度	「子どもの虐待とNPO活動」 講師：岩城正光（CAPNA理事長）	
平成17年度	「うつと不眠 —初期対応のポイント—」 講師：岩田仲生（藤田保健衛生大学教授）	「地域社会での支えあい —NPOの活動を理解する—」 講話「NPO活動とは何か」 講師：県民生活部職員 シンポジウム「NPOの活動と役割」 シンポジスト：森長節子（ワーカーズかすがい理事長）、 河野弓子（あっとわん代表理事）、今井友乃（地域福祉サ ポートちた事務局長） コーディネーター：渥美浩子（駒来の家代表理事） コメンテーター：栗原壯一郎（愛知県精神保健福祉協会副 会長）
平成18年度	「こころの病について —わかっていること、これからわかる必要 のあること—」 講師：尾崎紀夫（名古屋大学教授）	「地域で支えるネットワークの構築に向けて」 —ひきこもりを支援するNPOを中心に— 講話「NPOと協働」 講師：石井伸弘（名古屋オレンジの会ジョブコーチ、いの ちのめぐる暮らし作りラボ主宰）  シンポジウム 「ひきこもりと協働～当事者・家族・市民・NPO・行政の 連携を育む～」 シンポジスト：鈴木美登里（名古屋オレンジの会理事）、 伊藤進（なでしこの会理事長）、稲垣絹子（共生会運営委 員）、河野久忠（北斗寮代表） コーディネーター：長谷川俊雄（愛知県立大学助教授） コメンテーター：高森敬久（愛知県精神保健福祉協会常務 理事）
平成19年度	「いのちの大切さ」 講師：柏木哲夫（金城学院大学学長）	「地域での暮らしを支えるNPO活動」 活動紹介「NPO法人メンタルネットとよかわのとりくみ」 講師：岡本由紀子（メンタルネットとよかわ副理事長）  講演「NPOの視点からの可能性」 講師：石井伸弘（いのちのめぐる暮らしづくりラボ主宰） コーディネーター：渥美浩子（駒来の家代表理事）

平成20年度	<p>「緩和時間：私の考える精神腫瘍学」 ～ベッドサイドからのメッセージ～ 講師：小森康永（愛知県がんセンター中央病院緩和ケア部精神腫瘍診療科医長）</p>	<p>「回復のプロセスを見つめて」 ～ありのままの自分を語る～ 体験報告 ・うつ病を経験した会社員A氏 ・ひきこもりを体験した青年B氏 ・アルコール依存症から回復した麻酔科医C氏 コーディネーター：栗原壯一郎（愛知県精神保健福祉協会副会長）</p>
平成21年度	<p>「生きる、いのちの活動 ～家族、仲間とともに暮らすチンパンジーたち」 講師：西田利貞（日本モンキーセンター所長）</p>	<p>「回復のプロセスを見つめて」 ～ありのままの自分を語る～ その2 体験報告 ・ギャンブル依存から回復したGAのジン氏 ・摂食障害から回復したNABAの鶴田桃江氏、高橋直樹氏 コーディネーター：小久保裕美（東海学園大学）</p>
平成22年度	<p>「中年期のこころの健康」 ～臨床心理学の視点より～ 講師：長坂正文（東京福祉大学教授）</p>	<p>「発達障害、今何が必要なのか」 ～それぞれの立場から～ ・巡回相談の立場から 安城市教育センター 臨床心理相談員 山岡美和 ・学校現場の立場から 安城養護学校 教頭 伊藤佐奈美 ・企業支援の立場から 産業精神保健「IMH」研究所 常任顧問 吉野要 ・親の立場から 「あいちLD親の会」かたつむり 多久島睦美 指定討論者：牧真吉（名古屋市中央療育センター所長） 司会：長坂正文（東京福祉大学教授）</p>
平成23年度	<p>「子どもの発達障害 ～それぞれの領域へ望むこと～」 講師：山中康裕（浜松大学大学院教授）、 牧真吉（名古屋市中央療育センター所長） 司会：長坂正文（東京福祉大学教授）</p>	<p>「発達障がいを持つ青年の社会復帰支援 ～特性理解にもとづく援助について考える～」 座長：大高一則（大高クリニック） シンポジスト：大村豊（城山病院）、山口徳郎（名古屋市発達障害者支援センター）、若山隆（日本福祉大学学生相談室）、山崎尚樹（就労移行支援事業所マーム） 指定討論者：吉川徹（名古屋大学医学部付属病院 親と子どもの心療科）</p>
平成24年度	<p>「老いの風景 ～地域で老いるために～」 講師：渡辺哲雄（日本福祉大学中央福祉専門学校専任教員、東濃成年後見センター理事）</p>	<p>「うつ病のリワーク ～その実際と連携についてかんがえる～」 座長：西山仁（西山クリニック） シンポジスト：奥山真司（トヨタ自動車(株) 人事部企画室）、井上恭子（愛知障害者職業センター）、観月未沙（名古屋市精神保健福祉センターこころぼ）</p>
平成25年度	<p>「東日本大震災後の精神保健における現状と課題」 講師：福地 成 （社団法人宮城県精神保健福祉協会 みやぎ心のケアセンター地域支援部長）</p>	<p>「介護者のメンタルヘルスを考える」 司会・コーディネーター：津下一代（愛知県健康づくり振興事業団 あいち介護予防支援センター） シンポジスト：服部英幸（独立行政法人国立長寿医療研究センター）、佐藤しげ美（北名古屋市地域包括支援センター）、尾之内直美（公益社団法人認知症の人と家族の会）</p>

<p>平成26年度</p>	<p>「青年期・成人期の発達障害 ～どう理解し支えるか～」  講師：岡田 俊  (名古屋大学医学部附属病院 親と子どもの心療科 准教授)</p>	<p>「子どものネット依存 ～理解とその対応～」  <b>基調講演</b>  「青少年のネット依存症 ～その気付きから回復に至るまで～」  講師：佐久間寛之(久里浜医療センター精神科医)</p> <p><b>シンポジウム</b>  司会：長坂正文(東京福祉大学教授)  話題提供：高須了(高校教員・教育相談担当)、久利恭士(愛知県臨床心理士会常任理事)、高橋昌久(こどもクリニック・パパ)</p>
<p>平成27年度</p>	<p>「今、求められる家族支援 ～向き合えた私から伝えたいこと～」  講師：夏苺郁子  (やきつべの径診療所 精神科医師)</p>	<p>「生きづらさを抱えた若者たち」  <b>基調講演</b>  「現代思春期論 ～今どきの若者かたぎ～」  講師：座長 尾崎紀夫(愛知県精神保健福祉協会会長)  講師 牛島定信((公財)日本精神衛生会理事長)</p> <p><b>シンポジウム</b>  コーディネーター：竹内 浩(名古屋市立大学大学院講師)  シンポジスト：前田由紀子(愛知県臨床心理士会スクールカウンセラーコーディネイター)、喜多一憲(全国児童養護問題研究会会長)、長谷川俊雄(白梅学園大学こども学科教授)</p>